

Nepal

| Date | Locality | Remarks |
|--------|----------------------------|--|
| 83-9-3 | Bangkok, Thailand | バンコックは女性の町だ。国花の蘭は女以外を象徴しない。この暑い中で |
| 83-9-4 | Bangkok, Thailand | タイ人が勤勉でないとは少しも思えない。心はやさしいのだと思う。悪い町ではない。*ノートの数ページは切り離してある。バンコックでの顛末について私見が記してある。家族への私信が多いので切り離れた。 ソバ：common buckwheat " bharesa" ギーで焼くパン→chillare。ヒマチャールでは" ogla" または" haphara"、祭りの食べ物" halluva"。wheatやBarleyと混ぜてchappatiesも作る。tartary buckwheat " kathu" 苦いので湯に入れてそれを除く。Chillareを作る。米のようにもcookする。酒→pechumi (ベンガル、シッキム)、" trumba" カシミール名。野菜としての利用、蜂蜜の花、30日くらい。rutinなどの化合物。アマンサランamaranthusの間違いか：" ganhar" カシミール名。薄いチャパティを作る。水・ミルクを入れて食べる。ポップコーンにする (" nana" ネパール名)。ミルクか水で粉をゆでる(煮る)。米と茹でることもある。Gruel→" phambra" 同じものを示す。ケノボディウム： <i>C. album</i> " bathu" ヒマラヤ名。Phambraを作る。" khichiri" ダルのようなものか？ |
| 83-9-5 | Delhi, India | |
| 83-9-6 | Delhi, India | |
| 83-9-7 | Meelat, Uttar Pradesh | Delhiから自動車ですら外に出る。この村は100から200戸、大半が自作農。Jatブラーマンは大土地を持っている。平均100エーカー、最大500エーカー。Harijanは1から5エーカー。 Dr. Prasadの協力による：農機具はバイシャ階級(大工、鍛冶屋)が作る。耕作：機械トラクターは大地主、牛、水牛。二期作地帯：雨季karif作物；主にrice、他に豆類black gram <i>Vigna mangu</i> , green gram <i>V. radiata</i> 。pigeon pea(<i>Cajanus cajan</i>)、Vegetables: オクラ <i>Hybiscus esculentas</i> (lady's finger), <i>Aboelmoschu essulatus</i> , bitter gourd <i>Momordica charoutia</i> 苦い果実を利用。サトイモの仲間 <i>Alocasia</i> , <i>Colocasia</i> 。pearlmilletは作っているが、インドビエやシコクビエはない。maize(makai, makka)も作っている, peanut, sesamゴマ。乾季：rabi；主にwheat, sugarcane, miner cropとして、 <i>Pisum sativum</i> (sweet bean), chick pea, oil crop; 1 <i>Brasica juncea</i> , 2 fluxあま, 3 <i>Brassica canpestris</i> .Vegetables; potato, tomato, onion, radish, couriflower, cabage, Tunip <i>Brassica napus</i> , carrot, pompkin <i>C. pepo</i> & <i>C. maxima</i> 。中間期(4, 5, 6月) zaed season: onion, cucurbita, carrot。 売る作物：rice, sugarcane換金、wheatはあまり売れないが一部は売る。Salling crop/cash crop→工場へ、barlyはあまり作っていない。高地で作る。Vegetablesは高く売れる。図：vegetables & fruits (マンゴ) near houses or roadsides. Nain crops (up/low) in fields. 図2：天水田はbandry (levee) を作り水を溜める。Uplandはバンドを作らない。稲の間にマングビーンを間作する。うるち米のみ、upland riceはあまりない。Floating riceはこの辺にはない。除草は手または機械で。防除は薬をまく。肥料はN尿素、Pを多く使う。播種前に与える。有機肥料を多くやる、家畜の糞も与える。 Dr. Ganesh Prasadによるインド農村暮らし解説：joint family家系図や家の見取り図あり。Delhiの家のみ取り図もあり。3世帯、10から15人が住む。祖父母の下に、兄弟世帯夫婦・子どもたち。Prasadの事例では、彼大学教員・妻・子ども5人。弟小学校教員、末弟農業。長男の妻が15人分の食事を作る。次男の妻は時々作り、この時、長男の妻は別の仕事をする。主婦権は長男の妻にある。給料は祖母に渡す。食事はベランダ、table、カーペットの上で食べる。家の中にgodは置いていないが、ブラーマンの家にはgodの部屋がある。 |
| | 事前学習 | |
| | Meerat村の調査(Meerut 地区02005) | |

食事形態： 1) breakfast; 彼は8-9am 弟farmer 6-7am in field外で食べる。 1Bread (chapatii), 2boiled vegetables 辛いもの, 3rosted grain (porched grain); rice,maize,chickpea (lor 3), 4milk, youglte, 5tea or water. eggは朝食に時々。 2) lunch 1時; 1chapathii and rice, 2dule (mongbean/urd bean), 3vegetables, 4 youglte飲み物はない。 , fatherは米なし、chapathiiのみ。 3) diner 8-9時: 1chapathii and rice, 2dule, 3butter, 4milk(夜飲むことが多い、水牛か牛、harijanはヤギmilk)。水は共同井戸 (ハンドポンプ、歯車、モーター) 、50個に対して10ほど井戸がある。手で50mほど運ぶ。遠いところでは500m、壺を頭の上に乗せて運ぶ。

ミーレト村の燃料事情： 1 wood、 2coal (石炭)、 3ケロシン・ストーブ。 図あり。 Woodは枝を近くから取ってくるが、環境保全の問題になっている。ケロシンより木のほうが便利だから。ガスは町のみ。村の共同作業はあまりない。たとえば道の補修も井戸掘りも。田植えはharijanを雇う。農協cooporative societyは共済、肥料など、種子、家畜の売買などもおこなう。灌漑に対してtaxをgovernmentに直接支払う。Erect選挙は5年毎。Partyは教育、納税tabacco: cigalet, billyは葉を巻いたもの。25本で50pisa。力車夫が吸う、強い。Cigerはない。60%は喫煙している。Pは13歳で9歳の妻と形式的に結婚。彼が22歳、彼女が18歳で入籍し、家に入った。長男12歳、息子2、娘2、計5人。多くの人は10人ほどの子どもを持っている。Familyplanは政府が進めている。嫁は持参金を持って来る。彼の友人は息子1、娘9人。彼の場合は妻が5人生んだ後、手術して生まなくした。金持ちの持参金は1から2万Rs. MD rとかengineerなど高学歴者には高い。Richimanの場合、家畜や家も持参することもある。

83-9-8

Dasana, Noorpur and
Chitaura, Uttar
Pradesh, India

Dasana村; 人口40,000、戸数3,000。うち、イスラム教徒300(10%)戸農家。最も多い農家の土地が50エーカー、少なくても2エーカー。非雇用者はデリーに行き、サービス、ビジネス、紡績工場に勤める。Clothshop カーペット。村の面積、5,000エーカー、宅地1,000エーカー、耕地3,000、工場など1,000エーカー。この村の位置はガンジーdistrict、NE 40 km from Delhi。主なインフォーマントはUsman Ali。jointfamilyは平均10人、多くて20から25人。米は苗床を作ってMayの終わりからJulyに移植する。1maize(maki)はJuneからAugustにまく。Octoberに収穫。エーカーあたり0.8 t。riceは10月に収穫。エーカーあたり、0.6-0.7 t。Sorghum(juara)はjuneに播き、julyからaugustに収穫。Chiliは4から6月に播き、何度も収穫する。Pearlmilletはこの村では栽培していない。草は堆肥、有機肥料になる。除草はスプレーで行なう。家畜はbuffaloとcaw 3,000頭、他にgoat 300頭、ロバ、ブタ、ラクダ、ゾウもいた。maizeは粉にして、厚いチャパティにする。バターをつける。綿畑は赤、白、ピンク、黄色花の変異が高い。ゴマとジュートを混・間作している。sorghumは切断して、牛のえさにする。Sugarcane。ヒンズーはヤギを、ムスリムは水牛を食べる。

Noorpur村:

NE 50 km from Delhi、Gaezabadの北10.5 km。インフォーマント農家ブラーミンShyam Lal Sharma。1000戸、人口; 選挙民6000、子ども3000、合計9000人。1戸当たり5から20人が住む。Joint familyであるが、()は農地を所有しない。1 brahmin 50戸、(2)harijan 110戸、(3)bhangi 80戸掃除夫、4jat 400戸農夫、5shepherd 100戸ヤギ・羊を飼う、6weavers 20戸ジュータンを織る人、(7)barbees 10戸、pot makers 20戸、(9)muslimus 40戸上記のうち、ブラーミンは1、アンタッチャブルは(2)(3)、パイシヤは5(7)(8)、スードラは6。全面積3000エーカー、cultivated landは2000エーカー、多くはjatが所有。農地所有は2から40エーカーで、平均10エーカー。トラクター16台、家畜6頭/戸。

| 作物栽培の事例: | sowing | harvest | yeald(t/acar) |
|-----------|---------|---------|---------------|
| rice | 6月 | 10月 | 1.6から2.0 |
| sugarcane | 10月植え付け | 10から11月 | 20 |

| | | | |
|-----------------|---------|---------|----------|
| maize | 4月 | 6から7月 | 0.8 |
| sorghum | (6月) | (7から8月) | えさ用 |
| cotton | 3から4月 | 9月 | 0.2 |
| pearl millet | 6月 | 10月 | 0.6 |
| wheat | 11月 | 4月 | 1.6から2.0 |
| barly | 10から11月 | 4月 | 1 |
| peas Pisium | 10月 | 3から4月 | 0.6 |
| sarsan Brassica | 10月 | 3から4月 | 0.4 |
| chick pea | 10月 | 3から4月 | 1 |
| potato | 10月 | 3月 | 12 |

Chitaura村 :

Noorpur村の10.5 km北で、おそらくこの村からの分れた村。インフォーマントはJB父とM息子、Jat農夫。150 families、1000人+子ども500人=1500人。All jatの村ですべて農民。所有地は8から300エーカー。家族5から15人。全面積は1500、内、農地は1000エーカー。家畜、caw, buffalo, goat。トラクター12から13台/村。Oxでも耕作する。6頭/戸。肥料NPKはcaw dry manous有機物。Insect防除はするが、除草剤はやらない。マンゴの収穫期、june to july。トラクターはドライバー付きで貸す。Rent : 100Rs/エーカー。1ha=2.47エーカー。buffaloよりoxのほうがよく使役できる。庭の花：ヒマワリ、ダリア、マリーゴールド、ピンカ、カンナ、ハイビスカス、ヒャクニチソウ、バラ。蘭は作らない。学校制度や日本製品についての解説・意見は省略。Prasadの父60歳はno education。今の若者はほとんど(今40%、20年前20%)学校に行き、読書ができる。

83-9-9

National Agricultural Institute; All India Coordinated Improvement Project, IARI Regional Station. Karnal, Haryana

Dr. Mahabal Ram; Project Coordinator : トウジンビエはchapatiiに、シコクビエは北部で作っている。Dlhi bus terminal 9:30, Ranipat 11:00, Karnal 11:45. オオムギのセンター。気候がオオムギ。16の試験場が全国にあり、ここはオオムギのセンター、昆虫、作物、生理部門。特に灌漑、salinityのことを中心に研究。breedingの目的：1穂が下垂すると雨がたまらず、穂発芽しない。2短稈、3高タンパク。収量はコムギ<米<オオムギ。多量のものを作る。chapatiiはグルテン含量の多いものが必要。120-140以上。クリーム色のものがよい。焼いたときに黒いものはだめ。短稈はN肥料を多くして収量上げる。高いN, irrigationなどの改善。maize、pearlmillet、sorghumも交雑により高収性の物を作ろうとしている。Pearl milletは品種改良が進められている。

| 英名、学名 | ヒンズー名 | | |
|--------------------------|---------|-------|--------|
| pearl millet | bajra | | |
| <i>Setaria italica</i> | kangani | | |
| <i>Panicum miliaceum</i> | sawan | | |
| maize | makka | makai | (maki) |
| <i>Elusine coracana</i> | mandua | | (ragi) |
| rice | dhan | | |
| <i>Sorghum</i> | jwar | | |

83-9-10

Kathmandu, Nepal

83-9-11

Kathmandu, Nepal

83-9-12

Kathmandu, Nepal

| | | |
|---------|---|--|
| | 1) Tribuvan UniversityのResearch Division Office、2) 農業省のScience&Technology Council, 窓口 | Mr. Gurngに調査許可を求める。Dr. Sharuma農業次官代理のrecommendationをとる。診療は保健局の許可、寄付することにすれば税金はない。 |
| | 3)Ministry of Health at Teku, Nepal Medical Research Commitii. | Microscopeなど研究資材は持ち帰ればよい。簡単な報告書を帰国前に提出、健康についてと寄付薬のリスト。NHK海外放送は天気がよいと5:40-7:40に聞ける。ネパール英語放送は11.840、8:00am、8:30pm |
| 83-9-13 | Kathmandu, Nepal | 酒と果物: Katomanduでは米から酒を作るが、山間地ではkodoから作る。マンゴ、ブドウは試作、カキ・ナシは渋いが導入している。リンゴは入れていない。Roomboyの話: 彼はIcangu村から2時間かけてホテルまで歩いてくる。夏はトウモロコシ、シコクビエ、イネ、トウガラシなどの野菜。冬はwheat、tomato、potato。Barleyは作らない。 cloudy、25°C at 7am |
| 83-9-14 | Kathmandu, Nepal | 調査打ち合わせ: Oct.6 Biratonagar Hotel Holiday Inn 3食でabout150Rs . Daranまで4-5時間。Poterは現地で集める。Dankuta (camp); Dasinの祭り。サーダー Sherpa Mr. Tsering Phinjo 彼らはバスで行き、空港で会う。食料は現地で。Oct.16 Holiday inn. Oct.19 Lukula camping: shelpa 50Rs/day; cook 40Rs/day; kichinboy 30Rs/day; potententはkitchin tool, sleeping bagを含めて、\$2/person/day. Kathmanduで買うものはcookと相談 sugar tea. interpriter about \$13/day; Mr. Rishi & Mr. Naresh. THT deposit-ok, newspaper-ok。Mr. Mothi, Mr. Pijo, Mr. Jothiに換金の相談 |
| 83-9-15 | Kathmandu, Nepal | bazarで売っている野菜。Cardamine sp. 青っぼい花、少し。カキナ類、少し。ピンクのカブ、多い。コマツナ類、多い。カボチャのつる、カレーに入れる、少ない。カボチャは多い。ハヤトウリは多い。オクラ12cm、少ない。ササゲ類25cm、少ない。キュウリ、インドから卵型、筋入り、5-6cm x 4m、多い。ナス緑から紫、少ない。トウガラシは多い、図あり、red to gree、長い6-7cm、丸い3cm、楕円2.5cm、小さいほうがりからい。タマネギは多いが、4cmで小ぶり。ニラ少し。ショウガ、ニンニクは多い。ネギは少なく、細くて30cm。ジャガイモ多い。サトイモは少ないが、芋茎も売っている。不明のウリ多い、たぶんキュウリだろう、路傍で切り売り、赤いソースをつけて食べる、長さ20-25cm、太さ10cm。ヘチマ類少ない、長さ30-35cm、太さ5-6cm、図あり。トマトは多い、2-4cm。ダイコンmuraは多い、長さ25cm、太さ4-5cm。レイシは少ない。キャベツ少ない(スアンヤブナートの途中)。果物: リンゴは多い、reddish5-6cm縦、4-5cm横。ミカン類多い、5-7cm。スダチ類多い、3cm。スグリ少ない、1.5cm。ナシ多い、5-6cm。ナツミカン類、10cm以上。不明の果実、少ない、表面多毛、長さ4-5cm、太さ2.5-3cm。キンマだろう: インドでは多く見たが、ネパールでは少ない。Green leaf長さ10-12cm、幅9cm。いろいろなものを混ぜてすうように食べる。 ☆bazarの種屋でいろいろなものを少しずつ買うことにしてはどうか? アスパラは最近入れる、kukureri。エンドウkero。tomato卵型の果実gorubera。ニンジンgajar。シソはインドニューデリー市内でescapeしてるのを見た。ヒマはよく見る。花: ダリア赤。マリーゴールド、アフリカン。コスモス黄色。ヒャクニチソウpolycolor。ケイトウ赤から黄色。キンレンカ橙色。 Oenothera sp. |
| 83-9-16 | Swayambhunath | |

83-9-17 Swayambhunath
 ネパール語の学習。finger millet, kodo. カキHaraho. オクラRantoria. ヘチマ類nangenio. レイシBarero. さらにする葉Bart. アーティチョーク型の果実Sariga. ナツメRopshi. エダマメPodmas. ハヤトウリIsukusi. インゲン類マメTimin. ナシNasupati. タケノコの加工品Tama. タマネギPiar. ニンニクrashun. ショウガadua. ワケギChepi. カレー粉Besha (r). 切り干し大根Mura shugaigo. 70cmくらいのヘチマ類ウリBironra. ビーマンVegetable korsani. 小さいキュウリやキャベツ。ナスlenda. レモンGagadi. きのこと茶色で傘は10cm, Shao. カボチャParshi. ごく小さいトウガラシ、最も高い、genmara. 緑の丸いトウガラシ、zera. バナナsera. キャベツBadakobi. ユウガオRouka. ハッカBabari. トマト・ナツメ・ハッカを混ぜてピクルスにする。サトイモPindaroダルに入れる。ヤクのチーズDoluka茶色で非常に硬い。サンショ類の実Chunbur

83-9-18 Imadol

83-9-19 Imadol

イヌホウズキ、ノゲシ黄色、アザミsp. 薄紫。アオビユ、棘あり、なし。ワルナスビsp.。タカサブロウsp. オヒシバに似たほかの植物。interpreter: Keshab Raj Lanshal (名) ブラーミン and Sudarshan (名) Munakarmi Newar.

83-9-20 Imadol

雑草学としてのテーマ: ①Ageratumいつどういう経路ではいったか?。紫より白花が多い理由は? 畦や路傍に多くある理由は? 種子散布法は?。②ウシ・ヤギからの防御、ハッカが道に非常に多い。チョウセンアサガオ・イラクサはとげないし毒をもつ。ナス科sp.、毒があり、道に多い。③イネの新品種導入と雑草ヒエのmimicryおよび変異。過去、イネが草丈の高いとき(5年前まで)に共進化した、ヒエは現在短程の新品種導入により、存在が目立つ。図あり。草丈、出穂期のアンバランス。④Rorrip dubia: roadside, garden, levee of paddyにある。Leveeに生育するのは、日本と異なって、他種がないので、そのニッチを占めることになっている。

83-9-21 Imadol

83-9-22 Imadol

primary school:

児童80人、一同じクラスで内容も同じ。先生1名(19歳) Danusha出身で、今は下宿。PatanサムユッタCampus, Politocal 専攻。全科目を教えている。Nepalese, Mathematics, Social sciences, Englishも少し、体育もする。授業10~14:30 昼抜き、50%は常に出席。時計がないので、時間がわからない。夏・冬休みはある。1ヶ月くらい。textbookは政府がくれる。4年前は1-3classまで、今は1-5classまでもらえる。Noteはみなが持っているわけではない。チョークで書く。先生はよい職業と思う。全国的に先生は不足している。給料465Rs/month、hotelのboyさんと同じくらい。先生の研修はある。Primary 1-3class. Middlescholl・secondary 4-7class. Highschool 8-10. ここでいうclassは学年のことか? Nepalには義務教育がない。大学college 4年、大学院university3年。High schoolないしcollege卒でなる。転勤はほとんどなく、女性先生12%。先生同士の結婚はない。テストを受けて先生になる。先生の名前はRajkumarSaha. 8月に開校したばかり。長らく同じ学校にいる。high schoolは生徒500人、先生16人。Imadol Panchから集まってくる。息子さん2ヶ月前に結婚。9th classはネパールの歴史。英語も習っている。学校は面白い。Engineerになりたい。農業は好きだが土地がない。妻はward4からもらい、子どもの時から知っていた。

83-9-23 Imadol

upa (パンチャット副議長)の家Imadol
 Panchayatのchairman:
 No.6 Pradhan
 Panch, Imadol
 Village, name; SR
 Shasma

クコpurpleflower、ネナシカズラまれにあり。計量は箆ようのものである。カーペットは700Rs。金曜日は朝食しか食べない。Riceは買う、1pathiで30Rs (写真撮る)。他の仕事がないので、農業はよいと思っている。カーペット作りとか他の仕事もしたい。新居を作ったとき、葬式のあと、ボダイジュやマンゴの葉で注連縄様の物を作る。

| | |
|------------------|--|
| A家: RBS Newar | GM80歳、夫婦、夫60歳、妻は後妻、子ども3名ほか、合計12名の家。自作paddy 12R, 40M, 台中only栽培、5-10月。 Garden 2R (Rはropani面積、M一重さか?) 合計12R. maizeは4-8月、1M/R. wheat赤 12-5月、2M/12R. Bean batomus 4-8月。Spice kolsani 4-8月、5kg/2R。 ウシ2頭、milkとる。農業収入 1,200Rs. govt. serv. 収入は少し。支出 500Rs, 衣服800Rs, 教育200Rs. roxiはtabooで飲まない。 |
| B家: VS Chetri KC | 両親53, 42歳。 子どもM25, F23, 合計4人。 paddy 6R (rent) , 20M/6R. July to Dec. 台中のみ栽培。 Maize 12 pathi, wheat 1M, bean 2 pathi, korsani 2 pathi. ウシ1頭, ニワトリ羽。農業年収 1,000Rs. 支出 食品 500Rs, energy=wood 500Rs?, 教育150Rs. roxiは飲まない。オオムギはごく少し作っていて、神にささげる。 |
| 83-9-24 | Agricultural Botany Division, Lalitpul: Imadol Nepal農業省の証明を成田で防疫と別送品で示す。到着の翌日。問題はイネ。 |
| 83-9-25 | Wachu (Ochuが正しいつづり), Imadol Panchayat, Bactipul Imadol Panchy 議長: 耕地 1000 Ropani (Wachu) , 10000 R (Imadol p.) 。 Nagar Panchyは川の近くで水があるが、Imadol Panchyには川が1つしかなく、水場に困る。1年前にパイプはできたがまだ給水できない。タンクから (Chapagaun村) からもってくる。地下水、各集落に分ける。完成すればほぼよい。他にもボーリングは必要。Imadol Panchyatの人口は5,500人、戸数1100。ほぼ全戸が農業、工芸をしている人も農業をしている。9wardで構成されている。chetri 95%, Newar 2%, Braman 3%, Magar/Sarki少数。2000前から集落はあった。Wachu が最も大きい集落で、200戸。Imadolにはレンガbatta工場が26箇所。Ward 6のImadol集落にはIgaarの上にstupaがある。Imadol Panchyにはpradanpan 1名、upa-pradanpanch補佐役1名、各集落代表9名、各集落から4名、計36名。Ga, sa, sa meeting 2-3回/月。Seasonのときは早朝にするが、午後のときもある。5年に1回、選挙で村民全員が投票する。(推薦者を選ぶ) Panchの役員給料はない。選挙権・被選挙権はともに21歳以上の男女。他の村には女性もいる。Mahila Union女性同盟、panchのメンバーで、女性問題を提起する。21歳以上。9集落から9名いて、代表1名はPanchyの会議で発言できる。 |
| | Imadolに小学校は2校、80名と150名。High Schoolはjuniorとsiniorを含み、合計1000名。他のpanchyからも来る。英語学校は村立 100名、40Rs/月の月謝。半分は政府、半分は学生が払う。ただし、小学校は政府の援助で、99%はいく。High Schoolへは不明だが、KTM (カトマンズ) やPAT (パタン) へも出ている。教育問題は小中学校をそれぞれ1校増設したい。 |
| | ☆農業: 耕地10,000Ropani: 主要作物多い順 1.raice, 赤い味rhatodhan (20年前), poknralli (10年前)、台中が多い。2.wheat 赤rhato, 白setoの2品種。3.maize seto, rhat, (yellow) pahelの3品種。Beansは botomasが多い。5.potato kodoは少しだけある。モロコシは5年前までであった。ソバはほぼない。マメは黒、白、茶色種皮がある。Korsani 丸型は少しだけ作る。2,000年前には伝わっていたという。ニンニクはあまり使わない。ウコンはある。Potatoを多く作っていて、tarkaliに入れる、品種は1。地図はない。米は買うほうが多い(55%)、売る人は5人くらい。つまり自作農(大) 40 Ropaniは5戸のみ。ほとんどの人は小作人。地主はPatan or KTMにいる。4M/Rのうち、1M3Pathi/Rを支払う。95%はrent. caw.ox 1,700頭. bufalo 60頭. chikin 7,000羽 eggを Patanに売る。goat 200. Pigはいない。トラクターはない。足踏み式脱穀機200台。製粉(米)所は2ヶ所。ぬかはウシのえさにする。肥料は液体とpowder、urea complex。ほとんどの農家で買って施す。主にイネ、maizeに与え、wheatには与えない。農薬は施す。堆肥はまれにやる。稲わらはえさか敷き藁にする。黒穂病wheatには播種前に農薬を施す。靴作り、かじや4戸、粉ひき。床屋はいない。社会構成: 1farmaer, 2officeman 15%. Teacher, government service, banker, police, army. 3marchant, shop 15戸。 |
| OK Chetri, | Khadka=caste. Family 4名. head 25歳、GOVTservice テスト合格。wife 24歳, 西部から来た。daughters 2名 2&3歳。2Ropani(rent) 水田 12M/2R、台中のみ栽培。5月に播種、6月移植、収穫?。wheat 2M/2R. Dec to May. Spice 2 pathi. Korsani, fertilizerなし。corn 1, bean 3 pathi. 支出: Meal 200Rs, energy 100Rs, cloth 200Rs, = 500Rs/month |

83-9-26 Ochu, word no. 9. 人口 300から350。戸数55。社会構成tribe: 1Chetri 40戸、 2Newar 5戸、この45戸は農家。3shose maker 3戸、(sarlehi)の農業はやっていない。4Magar 7戸、農家。service 20名。Agriculture landowner 5戸。最大自作25Ropani は1戸のみ、15Rも1戸のみ。地主の多くはPatanにいる。約50戸は小作農。Patanの地主40名、最大貸し地主は50Ropaniを貸している。地主の仕事はbusinessman, service latte=Amaranth。 Yello花を見るだけ、あるいはwheat rotiに少し入れるかトッピングに振り掛ける。red花は神にささげる。rice台中、早晚生、China60年前に入れる。Wheatにはroto (Nepal在来)とseto (多収で、5年前に導入した。屋根ふきにも使う)草丈が長いということか?。Yield 1.5 M/R。barleyは食べないので作らない。化学肥料はやらずに、堆肥soterはやる。makai にはjunelo と kuma l (r)の2品種。Yeild 6 pathi/Ropani。Korsaniは自家消費のみ。どこから来たかは不明だが60年前からある。kodo はdido にする。Roxiは飲まないが作って売る。

P. school 児童80名だったが1名死亡で、現員79名。先生1名。establishment 1年前(1982)、政府の援助がなかったので、遅くなった。建物は村で作ったが、よくないので建て替えたい。先生の給料はGovt.が出す。Ochu, word no. 9. の子どものみ通う。textbookは政府がくれる。Noteやpencilは各自。toiletは1年前に作った。理由は衛生上とダイコンに施肥するため。

Meeting: 4:30-
(A) Magar tribe: CB
Magar:

head 夫長男 46歳、小学校の小使い。Wife36歳。子ども 4名。合計6名。paddy 4M/R, 4月-10月。upland riceも少し栽培。Wheat 1M/R 11月-3月末。Potatoは少し。breakfast はbhat。Dinner は9pm, bhat, dal, tarkari

(B) Magar:

13年前に分家し、5年前に建て替えた。次男だが母を引き取る、36歳。妻は34歳。2名とも自動車工場で働いている。son 1名、daughter 1名、total 5名。Rice, 2 Ropani, 4M/R。Maize, a little。Wheat, 2 Ropani。Chilli & potato, a few。ヒツジ 2頭、ヤギ 2頭、ニワトリ 4羽。工場からの収入 6,000Rs、food 4000 Rs、rent代 200 Rs、ドレス 1000 Rs、education 700 Rs。

83-9-27 panchy. のSecretary (3
年前から働いている)

仕事は: 政府に報告書を書く。村の畑の問題、土地や水争い。土地の交換。joint family の分家。離婚。—— Home Ministryへの住民登録、家を作るときのplanningや許可を行なう。道路の補修を含む。District Panchy. から資金が来て、村人が作業をする。Laritpur Dist. には43 panchy. がある。選挙委員会から人が来て、panchayatのboadingをする。村内の裁判: 特に水のこと、畑のこと、水場hitiを作ってほしい。水争いはある。他人の畑の無断名義書き換え。畑のものの盗難。遺産相続の問題。未亡人になると、財産はjoint familiyの兄弟に行く。子どもも同じで、未亡人は何も残らない。そこで、Pradanに訴える。→裁判して、調停し、signする。なければ、食べ物も何ももらえない。Panchyatで判決できなければ、裁判所行く。

Rule of Panchyat: Meetingを開く。連絡する。Unionのrule。禁止事項; 他人の畑に家畜を入れない。家を作るときの許可。お酒を飲んで夜遅くまでうろつく。会社のsmoke排気許可。道路作りの労働提供。水の分配。Tax (店、道路、工場)の流れ;Panchyat → (Bank) → District Panchyat → Home Ministry、dataはここに保管する。各戸がpanchayatにtaxを払うことはない。meetingで寄付を募ることはある。罰金のみはpoliceに、追放はない。村八分は、50年前にはあったが、今はない。農業指導はMinistry of Agricultureからの情報で、panchayatが行なう。販売のためには来る。kisam Union (農協)があり、代表1名がpanchayatに出る。出生、結婚、死亡などは35日以内に届ける。路傍の雑草植生調査図あり。3ページ。2表を次にまとめる。

| 果実 | 球形 | 中肋 | 葉表 | 葉裏 | 茎stem | 葉柄 | |
|------------------------|------|-----|------------------|-------------|-----------|----|----|
| 23x22 | | 2.3 | 1.1 | 1.5 | 1.2 | | 16 |
| 26x26 | | 1.8 | 2 | 1.2 | 0.4 | | 19 |
| 25x21 | | 1.1 | 2.1 | 1.8 | 0.3 | | 18 |
| 21x21 | | 1.3 | 1.7 | 1.6 | 0.7 | | 16 |
| 23x20 | | 1.2 | 1.3 | 1.3 | 0.5 | | 15 |
| 19x18 | | 1.6 | 2 | 1 | 0.6 | | 13 |
| | | | 1.9 | 0.7 | 0.7 | | 15 |
| | | | 1.8 | 0.7 | 0.7 | | 15 |
| | | | 1.2 | 0.3 | 0.6 | | 17 |
| | | | 1 | 0.5 | 0.7 | | 19 |
| | | | 1.2 | | 0.1-0.2多し | | 17 |
| | | | 1.3 | | | | 11 |
| Ochu caw goat grazing; | アザミ | | N-leaf | | | | |
| | ナス科 | | N-leaf and stem | 表裏: T-fruit | | | |
| | チョウセ | | | | | | |
| | ンアサガ | | N-fruit: T-fruit | | | | |
| | オ | | | | | | |
| | アオビユ | | N-stem | | | | |
| | イラクサ | | N-stem | | | | |
| | ハッカ | | T-leaf | | | | |

葉トゲ 草丈90cm以上、2-3cm 中に大きなトゲ

今後の予定表あり。この通りにはならなかった

RB Magar (Thapa) head 61歳、息子24歳+妻20歳；息子22歳+妻19歳、合計5名。5R(rent) paddy 10M/2R; 6月-10月. wheat 6M; millet 10pathi. Caw 2, goat 1; chikin 5 収入 ー。支出：食物 300 Rs/月。エネルギー 100 Rs. 23 pathi(rice)-house rent; 2000 Rs dress. education、100 Rs. 5am wake; lunch 10am, bhat,dal, tarkari, water & milk. Tiffin 2pm; diner 8pm. Sleep 9pm.rice のtransplantingは女がする。男は入れない (taboo)。

83-9-28 10時頃、農業省農業試験場 reception キランティ王国についての講義少し。Biratnagar方向へチベットからライ、リンブー族が南下して、王国を築いた。ネパールを概観すると、KTM周辺にはChetri, Newar, Magar. の諸族が、低地にはヒンズーの人々、LuklaはSherpa、DankutaからBiratnagarにRai, Linbu族が分布。

83-9-29 amのみImadolの山のほうへ、Badhghon方面へ。kodo は小面積ながら、斜面によく作られていた。white seeds は早生、black seedsは晩生。A type、屈曲穂。Btype、直穂。図あり。Amaranthusは各農家の kitchen garden に少しずつ栽培されている。花序にA type直立, yellow花, red花。B typeはred花、下垂する。エゴマshiramはキッチンガーデン、近くの畦で作られていた。ピクルスに入れる。開花中で種子は取れなかった。sorghumの穂には2型がある。KTMではまれにしか見ない。密穂型、多目の面積で作る。疎穂型2-5固体しか作らない。図あり。密穂は食用、疎穂は箒用か。

これまでの観察を考察してまとめる：○雑草について：（1）KTM； garden, roadside のweedy plantsのほとんどを採集した。（2）Ochu, Imadol Dist. Uplandfield and paddy fieldのものは大半は採集した。コナギは未採集。ホテイアオイは2ヶ所Swanyab. と Dept. of Agri.の庭で見た。○tribeについての印象：（1）Chetri は酒を飲まずに、清潔好き。joint family大きな家の一戸建て。 meat は週に1回程度。goat, chicken or buffalo を食べる。主に農業に従事。人柄は明るく、素朴で、平均的 Nepal人。美男・美女もいる。家の図あり。台所1階、寝室2階。貯蔵庫3階。（2）Magarは酒お飲まない。（1）に比べて、貧乏のせいか、多少不潔。別戸を近くに建てて、兄弟ですむ。ほぼ小作人で、少ししか農地を持たない。人柄は少しくらい感じがするが、悪い人間ではない。あまり整った顔立ちではない。台所1階、寝室2階。（3）Newarは酒をたしなむ。大きなjointfamilyを作る。農業のほか、商人が多い。商才に長けるが、人柄は不安定。（4）Tamanは白壁の家を作る。農業、ごく素朴な人柄。tribeへの印象など、今にして言えばいい加減に思う。

上層casteに属すtribeほど屈託がない。下層は差別の下にある。この不条理は越えられない。energy cycleの図あり。取るばかりで、recycleが少ない。化学肥料と堆肥を少しのみ。わらと牛糞は燃料。soilは粘土質で、有機物に乏しい。耕作土は浅い。初期成育に水不足。→ 改善： 牛糞を還元すればよい。わら、牛糞は燃料、家の素材。→ したがって、還元できずに、土地はやせる。トウガラシの主な3型。図あり。長い、小さくて長細い、丸い。

83-9-30 Theco, Rukubu, Laltipul
イネの草丈： 85cm混合、一部黒い穎、脱粒性強い、japonica. 60cm indica. 100cm 黄色い穎。これらに対してタイヌビエは120cm、70cmがある。脱粒性。米の中に少し入れて食べると香りがよく、おいしい。Ketu (Newar) 、sama。

Meeting 4p m-。①trekking permission 5週間ok。 ②2日にpassportをTHTに持って行く。TGのチケット。 ③LuklaはNov.5 KYM帰り、予定1日変更。 ④ Biratonagar → Dankutaはtent、荷物は5日に出す。Cockとkitchen boy ははバスで行く。 Mr. Pinjoはplaneで行く。 ⑤ trekkingpack 1日、25ドル。

83-10-1 Theco, holidayにする
セイタカアワダチソウ； airport, Ochu のtemple, KTMの USSR Emb.近くの Garden. Seeds amples in KTM varlley: maize 12 strains, sorghum 2+(1), Fagopyrum 1, Setaria 1, kodo 4+(1), amaranth 13, beans about 20, wheat about 2. Kathmandu で想うこと： ナマスカーラ！ 笑顔優しい人々よ 黒い筋肉のポーター 赤いサリーの女性 ククリのようなグルカ兵 風に泳ぐ女子学生たち KathmandoValleyの丘から純白の顔をのぞかせる 神々の雪峰 深い夜空を流れる銀河

Oct.1(sat) 9:00- Biratonagarへの準備： 約20kgは各自持つ。洗面具、衣類、手袋、調査道具、light, 水筒、medicine 腹、風邪、殺虫剤、雨具、洗濯、生活用具、ウイスキー1本、アルコール綿。Dankuta; east Rimbu, west Rai. Luklaの下までRaiはいる。

83-10-2 K T M

KTMではもう一度採集のこと。KingsWayにはRorippa開花し始めたものあり、花卉はある。VanVan通りのカヤツリグサなど2-3種。THTgardenのポインセチア。庭の雑草で、C. flexuosa, R. dubia, Vandaria spp. は多く見かける。ブーゲンビリア、芙蓉、ポインセチア等は非常に良好な生活をしている。Sept 末にkodoや Sorghumは開花から登熟中であつた。Sorghumには2typeが見られた。疎/密穂型。図あり。

83-10-3 K T M

83-10-4 K T M
83-10-5 K T M

Plant Pathology Division:

クンモルタール、Ringroadから入る。ラジオ・ネパールの近く。

**Agronomy Division:
rice**

15年前、台中導入、(1) T-176, chulaにするのによい。(2) chianung 242。(1)(2)はそれほどの差はない品種、(1)のほうが収量がよい。(3) K-39。(4) IRRI seriesからselectしたもの。Kandiar 92は乾燥に強い。Himali。

Pokhrel. Mashino : 倒伏耐性、脱粒性の問題。台中よりおいしい。Taraiから入れる。黒い粒、island type, local variety, China からはいった。var. name Tapackinia(japonicaと indicaとの hybridであろう)dry areaで有効、まれに作られている。barley KTM ではあまり作らない。Fest.用に少しだけ作っている。多くはIndiaから、Tibetについては不明。wheat Mexican var. 70%作る。Seto多くはこれを作っているが、数年前に westernから入った。Ratoはnative, local var. でSmall red grain. foxtail milletはwestern地方で少し作っている。Panicumはpearl milletと同じということ。kichen gardenで作る程度で、flourにして roti にする。Sorghumは各地で少しずつ作って popcornにする。経済作物ではない。West Tarai に dwarf typeがある。草丈が高いのと味が違う。鳥害があつてよくない。Echinochroa は雑草としてあるのみで、作物はない。

6試験場で研究している。(1)Rice はBilgangiで、(2)wheat と(3)maizeはHill Region。(4)Legumous, (5)kodo, Amaranth. このstation は1966 にestablished, Patan Agricultural Division.Bean: soybean, chickpea, pigeonpea, etc. lentil マメはmeizeなどの間作に作る。家庭用に使う。Local var.と政府推薦var.はmarketingとの関係で必ずしも政府の推薦品種が普及しない。センダングサは野菜として食べる。Mexicoから帰化たということか。

旅行予定表変更あり。

山本氏の講義: Rai族; 首長の意が変じて、普通名詞。Rinbu=suppa 首長の意。BC2 Kiranty王国、KTMまで含む。BCにグルカが入り始める。18c西からヒンズーが侵入。Raiは1000から2000mに、小さい石造1階、草かスレート。散在村。maize, Brassicaカラシナ、素焼きの甕、真鍮の壺、穀物用のかご、鉄の鍋、水は竹筒で汲んでくる。

People of Nepal. maize, Brassicaカラシナ、素焼きの甕、真鍮の壺、穀物用のかご、鉄の鍋、水は竹筒で汲んでくる。People of NepalRai族: upland; maize, kodo, wheat, カラシナ。これらが主食料、didoにして食べる。Paddy; 酒とビールを造る。vegetables, beans, potato。日に2食、米は特別のときのみ食べる。切り替え畑を作り、2-3年休耕。所属する人; kibatiya. Rinbuの人も加わるが、これはRaiと呼ぶ。Gruca兵に志願している。7世代までは同氏族内で結婚できない。相手は好きに選べる。スワギ儀式; 初穂をささげる。カマン守護神(各戸の)、獲物は最初にささげる。ゴバ(シャーマン)。首長Raiha長男が世襲、1から数名いる。村の行政や司法をしている。小家族制度、かつては50世帯以上の大家族制があった、200名以上。合計人口 24万人。

Rinbu族; 人口14万人。Darokilant=Rimbuwan; Arun Riverより東、Dankutaを含む。RinbuとRaiは言語が異なる。高い傾斜地に家がある。800から1300m。1階の壁は赤・白の泥で塗る。戸や窓は黒。CropsはRaiと類似。Paddyは一毛作で休耕。Maizeは2,3-8月栽培。Kodoは6-11月。Wheat・barleyは10月種まき。roksi=tompha, channは多く作る。Beans, potato. kibattの会費 6Rs50paisa、10戸くらいで構成。一夫一婦制で父方居住。歌垣がある。山・地・川の神。木や石。Raiと類似、11・12月にかわらで祭る。ヒンズーの影響もある。

83-10-6 KTM
83-10-7 Biratonagar
83-10-8 Dankuta

| | | |
|----------------------------------|---|---|
| 83-10-9 | Hile | シコクビエのtransplantingは男女ともに行なう。Collection: 1 Biratonagar, 2 Dankutaの手前で、3 Dankuta前のつり橋近く。4 HileAB。各1テントです。3-4人用を一人で使うので、広いスペースがあります。(1枚cut) 日本で11:30 p m、早いけれど寝ますか。標本整理もしないで。 |
| 83-10-10 83-10-11 | | potatoはrato 楕円型、Seto丸型の2品種。Maizeはwhiteとyellow。Kodo。 |
| 83-10-12 | Hile地区の植生の特徴: | 木本はニレ科のものが少し。 <i>Rubus</i> 1 species, ノボタン類3-4種。草地はシバとツリフネ?が多い。エーデルワイスも多い。これは細葉が多いが、まれに広葉のものもある。ツユクサは2-3種。ラン科は3種あるが、ユリ科はまったく見られず。 作物は: 1 maizeの粗放栽培。2シコクビエ。3ダイズ。ここで1と2・3は間作する。4 oilseedキク科のyellowseed (ニガーシド) ナタネ類。他の作物はあまりなく、ソバがごくまれにある。植林が必要と思われる。霧が多く一日中晴れることがない。Temperature day 22-23°C, night 15°C. Windは少ない。tribeはTamanが多いが、もっと奥に進むとRaiが住む。DasainFest.の直前で、壁塗りが忙しい。白壁、赤茶壁。窓枠はgreen, lightblue. kodochan tombaの図あり。お湯を注いで、3-4度はok, 飲む。味はすっぱいが、うまい。容器(酒器)をtombaという。Rododendronの幹で作る。1個 300Rs。(他の生活費と比較すると、かなり高価に思われる) 食品店: riceは丸精白、か chula。 makai, kodo, wheat flour etc. vegetables laluが多い, 2ハヤトウリ 3トウガラシ 3-4 var.。 4タマネギ、 5菜っ葉。KTMと比べて野菜が非常に少ない。Hindo が多く、 Lamaは少ない。Tibetan婦人の服装の図あり。Topiはcolorfulで、KTMより高くし、折り曲げない。黒(役人)の人はいない。Dankutaでは製造していた。包丁の独特な使い方の図あり。Amaranthとエゴマは各地で見られた。 |
| 83-10-13 | | |
| 83-10-14 | Biratonagar | 標高の図あり。180m。 この間イネがほとんど。 Daran 350m。 以後1000mくらいまで、イネが中心で、モロコシはまれ、シコクビエは少ない。 Dankuta 1420m。 <i>Ageratum</i> も上がっている、ナス科トゲあり yellow fruitは2000mまで生育している。 この間、イネ少し、トウモロコシ、シコクビエが多い。 Hile 1950。 その後、トウモロコシとジャガイモのみ。 2150m。 |
| 83-10-15 83-10-16 83-10-17 | Biratonagar KTM → Lukla : Lukla 9:30am発 | 8時発で、9時頃着く。そのままテントで1泊する。 からGhat を経て Phakjung 3pm着 で1泊する。 食事は日に3回、10時、13時、19時。ソバのツアンパが主食。他にコムギ、オオムギ、ジャガイモ、アマランサス。 Main Crops: 1wheat多い, 2barleyまあまあ, 3potato多い, 4 <i>Fagopyrum</i> 多い, 5maize少ない, 6キクイモは牛の餌として多い。7マメ類 3種くらい, 8kodoはまあまあ, 9Amaranthはごく少ない。chili はほとんど取れない。 Garlicは少しありそう。ソバは <i>F. tartaricum</i> が多く栽培されており、草丈は30-40cmしかない。他の新しい品種(2)は晩生であるが、50-60cm以上の草丈がある。キクイモは草丈2m弱で、分枝せず、またあまり花もついていない。しかし、良好なイモで、牛の餌にしている。ソバの収量は見るところ、1リットル/m ² もなさそうである。 <i>F. tartaricum</i> は女性的な草姿をもっている。地際より刈り取る。Amaranthはpilin と呼称され、粉に挽いてからkodoと同じくツアンパにする。Serpa族は主にkodo, pharpal (ソバ) のツアンパとpotatoを食べる。Chanは購入した米より作る。Roksiにはあまりしない。Makaiはあまりできない。粒の大きな、草丈3mくらいの新しい品種が入っているが、まれにしか見られない。やはり、flourにしてからツアンパにするようだ。Ghat からPhakjung にかけてマツが多く、シャクナゲも混じり、まあまあの高木10m以上になっている。 |

Mazus spp はLukla から Phakjung にかけて人家近くあるいは日当たりのよい roadside によく見られる。ストロンを持って、約5-10ほどのramets を作っている。茎は赤紫色で、有毛。花色はトキワハゼに似て小型花白に近い薄紫から、小型花ではあるがムラサキサギゴケに似るほどの薄紫のものまである。萼が大きいのは日本産両種とは異なる特徴である。

Zo: caw x yak のF1. 主に運搬に使役する。ウシより大型で、ヤクよりおとなしい。Yakは4000m以上で活躍し、下へは降りない。zoはTibetへ輸出する。

気温: Lukla 2830m、快晴、3-4℃ on 3-4am、 27℃ in daytime、 10℃ on 7 p m. Phakjung 2620m、13℃ on 6 p m. 曇天。gatta 水車の碾き臼。

83-10-18 Phakjung 9am発で、

Manjo 10:30am着。Manjo 泊。2840m提示標高（高度計で2760m）、5C On 6:50 快晴

amaranth は赤いから、好まないので作るのをやめた。Potatoの小さいのはつぶして、乾燥させ、粉にしてrotiに使う。Monjo 手前のlodge氏は偏屈者と見受けける。日本で受け入れられずに、出てきたのだろう。林試を退官後來た。土地はTHTのもので、EVHotelに野菜を送るはずなのに、オーナーに大変な反感を持っているようだった。

83-10-19 Manjo 発、

途中の Josale checkpoint で、trekking permission をみせる 9:20。Namche Bazar (34440m) 12:00 着。Kunbila 聖山 6000m 弱。

83-10-20 Kumujung

Namche 3440m, 10:00 発、 EVHotel 3860m、12:20着。Namche では potato と野菜しかできない。米などは下から持ち上げたものを bazar で買う。市は土曜日の8-11時頃まで。Namche は約 100 戸。人口 約900人。ほとんどが1 Sherpa 96戸、2 biswokrana 4戸（あるいはg (c) amin、これは蔑称らしい）村史については不明。pureSerpaは4-5戸で、多くはチベットから入り、混血してsherpaと称した。全Nepalで8000人。EVHotelからの展望図有。（この写真は拡大した）

Namche の村長

A Sherpa 43歳。6ヶ月日本にいた。Pradan Panch of Namche Panchyat。Josale から Namcheまで、District Sorkumbu。村長の旧称はTejalukadar。立会演説やポスターも貼る。Pradan、Upa-Pradan、集落代表 Namche 1-3 ward, Wadasam-ti。

chan は kodo がhealth によいが、riceのが口当たりが良いので、米で作る。

Crops: ソバ。potao, 1 導入種 Oct. 20開花中、政府推薦で大きいがまずい。2 在来白・在来赤は小さいがうまい。
vegetables: ライサー葉菜在来品、ジャガイモの後、1-2ヶ月で取る。ムラ（ダイコン）1 甘い、2 辛い の2 品種。新野菜は竹村氏が教えた。Garlicは在来で大型。aluジャガイモは3月初旬植えつけて、8-10月に収穫。女性が掘り、男性が運ぶ。Phapalソバは4月に播き、9-10月に収穫。農地は私有 taxは 0.8-1.6Rs/Rで山地は安い。Pnanchyatが集めて、政府に出す。Namcheの耕地は正確に測っていない。そのほかのtax: 1 bazarでは1かご当たり 1Rs のtaxをとり、Panchyatに入れる。2 shop は10 Rs/month。他に各戸ごと。電気はUNESCOのproject公共事業の時のみ、panchayatから援助が来る。

チベット貿易： 20%の男が従事。Yakをつかう。夏は雪がやわらかいから人しかいけな。Bo r derから1-2日、30kmまではpasportいら。片道7日かかる。Nepalからは染料、buffaloの革(靴を造る)、糸、タバコ。食品は不可。チベットからはヒツジの毛糸、塩、干し肉、たん茶。Bazarには上(中国)・下(DaranとDankutaの中間地域)から来る。大麦は黒いのがおいしい、ツアンパにしたら白くなる。1 トウガラシはラウンド・ジェンマラ(アカバネ?)が辛くて最も良い。2米2-3種、ほとんど中間型で、台中japonica typeは来ない。Luklaから3-5日のところ、石油はBiratnagarから来る。米はおいしいから買う。40年前からモノ日には米をてべていた。Sherpaはpotatoが最もおいしいと思う。下から来る人は白い衣服。上から来る人は黒い衣服。昔は物々交換であったが、今はお金です。上(中国/チベット)：チベットの塩を買う。量が少ないから高い。チベット茶に使う。この岩塩はIヨウ素を含んでいる。

チベットオオムギ： 3月播き、8月収穫で、乾燥後、9月に脱穀。4000mのDenbocheのみで作っている。Sherpaの習慣として、初めの1-2穂は大黒柱に飾り、神にささげる。後はツアンパにする。

昔は各戸から1名出たが、今はPanchyatから言って人を募る。Projectの労力の25%は土地の人が提供する。道路、マニ、橋を造る。共同作業で、賃金はないが、出ない内はお金を支払う。家を建てる時は無償で助けていたが、今はお金を出さないと来てくれない。農作業は共同で行なうことがある。結婚式は親類のみです。葬式・火葬し、骨を土に混ぜて大岩の上に置く。他は川に流す。火葬場は決まっているが、大岩の場所などは大まかにしか決まっていない。東西のどこと決める。仏様には7杯の水を差し上げる。毎日取り替える。いろいろなものも7で売る。7の意味は不明。

日課： 5:30am; 女性が起きてお茶を造る。7:00; tea ghi かmilk。 8:00 朝食 ツアンパ、チューラ。 11-12 lunch bhat, tarkari。肉は主に冬に使う。Yak, buffalo, sheep, goat を使うが、鶏肉は普通は食べない。 4:00pm tiffin tea, potato with chili。7-9pm diner; bhat, シャクパ、didoのいずれか。10pm 就寝。

チャンは朝から夕方までいつでも使う。大量に作る。Kodoがbestだが作るのが難しい。Riceは作りやすい。Makai/rice あるいは makai/kodoを混ぜて作るが、purekodoが最も良い。Roksiはあまり飲まない。健康によくない。tarkariはNepalから伝わった。チベタンとシェルパのsystemはほぼ同じ。potatoにソバ、コムギ粉を加えて、pancake, dido を作る。

クムジュンは

140戸。NewYearのシンボル;ツアンパ盛の図有。作物： 1 potato 赤と黄色。 2 pharpalはsetoの1品種。 3 vegetables ニンニク、ダイコン、ニンジン、キャベツ

83-10-21

Namche

83-10-22

7-11am bazar、その後

Phakjungに行く。

雑草研究種のまとめ：

Cardamine: 1 *Cardamine flexuosa* hotel Annapurnaの庭、KTM, Ochu. の水田の Levee. 3mm white flower, annual. 2 *C. flexuosa* spp. EV Hotel 3900mの階段のところに生えていた。 2-3mm の薄青色の花。草丈15cm。花茎は分枝、有毛。 Perennialかも、種子散布後、越冬芽らしきものがあったから。 3 *C. x* spp. Pakding. Monjoの上。2800m。草丈20cm上中型。 White flower 4-6mm on roadsideにまれ。角果は長い

Mazus: 1 *M. japonicus*. Annual. KTMの庭地. Tribhuvan UniversityとHotel Annapurnaの庭にはあったが、Biratnagarにはなかった。2 *M. xx* spp. Perennial. Lukla 2860m/Pakding/Manjo/ を経て、Check point in National park/3200m の roadsideまで行くと見られなくなった。花色は白っぽい紫から少し濃い目の紫。1cmくらい。1は *Cardamine flexuosa*、*Rorippa dubia* と一緒に生えている。この種は*M. surculosus* と同定できるか。DankutaからHileにかけて1800-2200mに生育していた。日あたりの良い路傍ないし畑の縁、grasslandに生育。茎葉は多毛。

Rorippa: 1 *R. dubia* は roadside に多い KTM. Levee にも非常に多くある Ochu. 花卉なし。 2 *R. indica* KTM の roadsideに 花卉が有るものがあり、10月の初旬に見られた。 3 *R. islandica* Ochu の levee にまれにあった。

課題: ① levee と roadsideとの ecotypic differentiation ② Nepal とJapan の種分化 ③ *R. dubia* の habitat の位置づけ。他の2種との関連で。 ③その他、キリンソウ属Sedam、ヤマボウシ、*Amaranthus*

Fagopyrum: Lukla(wheat, potato)/ Pakding(ダッタンソバの畑の縁にweed有)/ Manjo (potato、ダッタンソバ)/ Namche(ジャガイモ、ダッタンソバ)/ EV Hotel (ない)/ Kumjung (ジャガイモ、ダッタンソバ)/ ダッタンソバ畑の weedソバの分布図有。weed とcult. とセットで採集する。比較栽培及び交雑と染色体を見る。 Phakdingと Monjoの間に見られる。

主人はSherpa で、クムジュンにはサーダーが10名ほどいる。 Barleyは作っていない。Namche, Kunde, Kumjung. は通婚圏にある。 Phinjo氏の兄は Kumjung にいる。家族数は6名。末弟が家を継ぐ。男がいないと養子を末娘が取り、両親と住む。

83-10-23 Phakjung のゴンパに行く。Drs. FKYはLuklaに行く。

83-10-24 Phakjung Shakpa: すいとんというより雑炊。材料; ダイコン1kg、ジャガイモ1.5kg、米750g、小麦粉100g、今回入れない。塩cha 大匙5杯。 トウガラシmatchi 丸型2個。 Spice erman 小匙1杯。ヒツジの脂肪chilu。どれも少しずつ入れるので、どれが主材料というわけではない。ダイコンはpotato pilo またはナイフで削るように皮をむく。KTMで買ったナイフを刃を上にして用いる。かまどや調理器具の図あり。レバーはfried。腸には地、塩、ニンニク、chiliを入れてソーセージにする。これをボイルして食べる。チベットから伝わった。Yakを年1回、1戸で1頭殺す。11月にするのは寒いから良い(腐敗しにくいということか)。各家庭で作る。1頭、2200Rs. 旅行者は3000Rs. 正月にmomo (ギョウザ)をつくる。ダイコン長さ20cm、太さ18cm、カブのような形、図あり。shakpaの味: 1塩分が多くからい。2ダイコンはよく煮えているが、ジャガイモは固め。3トウガラシ辛さは少ないが、サンショ類 ermanの味は強く、舌先がしびれるような刺激がある。4米はかなり溶けてかろうじて粒を保っている。5 sheepの干し肉は硬いが、よくかむと良い味がする。Smoked meatのようである。

83-10-25 Phakjung 調理法の調査

83-10-26 Phakjung Senneセン(ヌ) = dido: Sherpa語 3人分の材料。(lpharpal fl. または kodo fl.). 今回は 2gaun fl. 2カップ 500g。 3塩 1.5スプーン。 4チーズ。5ニンニク 1切れ。6トウガラシ1個。月に4回、朝か昼食に食べる。道具の図あり。オオムギだけでもよいが、シコクビエやソバは混合して用いる。ちぎって、丸めて、親指で窪みを作り、ここのスープを入れて、食べる。出来上がりは茶色になる。chanのスターター: yeastはpharpa r のものをジョサレで作っている。Jau のものは甘酸っぱくておいしくない。材料8kgに2個入れる。図あり。

83-10-27 to Lukla

83-10-28 飛行機待ち： 雨が降ってきた。明日のフライトはどうだろう。ヨーロッパ人とインド人がまだ騒々しくしている。キャンセル待ちで14番だ。3フライトあればokかもしれないそうだ。しかし、Nepalのこと乗って降りるまでわからない。ヨーロッパ人は慎重深く寝るようだ。インド人は切りなく騒ぐ。雨が降り、明日はノーフライトとなれば、いつ帰れるかわからない。

83-10-29 Lukla
83-10-30 整理作業：

| 呼称対照表 | 和名 | Nepalese |
|--------|----------|----------------------------------|
| シコクビエ | | kodo |
| アマランサス | | late kaun |
| ダッタンソバ | | Tite phapar/bre phapar |
| ソバ | | phapar (trau)/gebre phapar |
| モロコシ | | junero makai |
| アワ | | kauni, kaoni- tangure |
| キビ | | china |
| コドラ | | kodra |
| x | | mandira |
| x | | |
| トウジンビエ | | bajra |
| エンバク | oats | jai |
| キノア | chenopod | bethuwa |
| イネ | rice | dhan |
| コムギ | wheat | gaun(tro) |
| オオムギ | barley | jau(ne)/ uwa(Sherpa語) |

83-10-31 Kathmandu, Nepal
83-11-1 近郊の採集、調査

DrFKY帰国

83-11-2 **KTM bazar** の調査

果物： 1 ミカンはとても多い、2-4品種。2 レモンはある、2-3品種。3 ブンタン有、1品種。4 カキ少ない、2品種。5 クルミは多い。6 サトウキビ少ない。7 ピーナッツは多い。8 リンゴは多い、3品種。9 バナナはとても多い。10 ココナッツは少ない、2品種。11 ザクロあり。12 ナシは少ない。13 スグリは少ない。14 ナツメ類赤は少ない。15 ドングリは多い。16 yellowのグアバは少なくなった。17 ナツメ緑は有る。18 パパイアは少ない。+++特に多い。++多い。+有る。少ない。

野菜： 1ダイコンは特に多い、赤白2品種。2カリフラワーは少ない。3八頭は少ない。4ナスは少ない、2品種。5ピクルスキュウリはある、2品種。6エンドウはある。7サトイモは多い、2-3品種。8カブは有る。9カラシナ類は多い。10 *Cardamine*は有る。11ワラビは有る。12ワケギは多い、2品種。13 *Brassica*類でセリに似たものは少ない。14インゲンは少ない。15ハヤトウリは多い、2品種。16サツマイモは少ない。17カボチャはある、3品種。18トウガラシは有る、3品種。19ニンニクはある。20ショウガは多い。24トマト中型5cm、赤・緑、は有る。25トウガン類は少ない。26キャベツは少ない。27ニンジン少ない。28タマネギ少ない、芽が出ている。29マメはエンドウに似た大型のもの、8cm、少ない。30スパイス用木本（？若いコショウかも）ナスは少なくなった。31ニラは少ない。32ナガイモ、1軒のみ、30cm。33ヘチマは少ない。34ソラマメ類のseedling 10-15cm 野菜は少ない。

雑録： binayoの奏仕方、図あり、口の動きで音を作る。主に若い女性のもの。Mattungaは鉄製で指ではじいて鳴らす。* Raiのbinayoはアイヌのムックリとまったくくらい同じものだ。この共通性をどう考えるのか。多元的な発生なのか、伝播したのか。干した魚も一緒に売っている。riceは女性がtransplantする。

83-11-3

83-11-4

植物防疫： Mrs. Krishna Shrestha, Khumal Tar, Div. Plant Pathology 日本に7ヶ月いた。お好み焼きをrotiの様と言っていた。竹製の野冊をほめていた。

準備： dry specimen は ok。 Seed samples はナフタリンを入れておけばok。listは5copies。証明書発行。

83-11-5

雑草植生概説：

①KTM, 1300m alt .②Biratnagar 水田 180m。 ③ Hile (Dankuta) 畑+水田。 ④ Phakding (Lukla) 畑、2600m

⑤ Kujung (Namche) 畑、3700m ⑥ India, Delhi近郊、水田(畑) 150m

(I) ②⑥は水田にイネ科が多く、インド区系の植物中心で、日華区系の植物はまれにしかない。①には日本と共通の種・属が多く、イネ科よりも双子葉雑草が優占する。 田畑があるので、植生は豊かである。

③までは①と共通種が侵入しているが、④⑤にはなく、畑作のみであるし、標高もあるので、雑草の種類は少ない。

a畑地、b庭地、c登山道路傍というようにhabitatを区別できるが、むしろcに種類が多い。

(II) 帰化雑草はアゲラタムが最も目に付き、①に最も多く、③にも有り、④にはほぼない。Soridagoは①の3ヶ所で見たのみ。

アメリカセンダングサも多い。

(III) 民族-雑草： ウシ、ヤギ、ヒツジなどが多く飼われ、放し飼いされている。これらは路傍の草はもちろん、水田のイネや八百屋の野菜まで食べる。雑草の側の適応戦略は特徴的なものとして、トゲと毒がある。

(a) **トゲ植物：** オジギソウ②、オナモミ、不明の紫花木本、ママコノシリヌグイ、チョウセンアサガオ、イラクサ、アオビユsp.、ナス科yellowfruit。 路傍の植生調査した種。

(b) **毒：** チョウセンアサガオ、ナス科yellowfruit。ハッカ、マメ科(②、⑥) さらに1種以上、灌木in Biratnagar 生活史からいって、seedlingの時から、トゲを持っていないと食べられてしまうので、どの段階からトゲへとdrymatterを与えるかが問題となる。トゲ、葉に乾物を与えながら、再生産をどのように確保するかが戦略の中心となる。また、fruitに毒をもつこと、fruitの位置がトゲの根本にあれば、葉は食されても、実は食べられないこと、なども重要な戦術といえる。

(IV) 水田中に比較的雑草が少ない。除草は1-2回しかしらない割りに少ないのは、施肥料が少ないせいかな。発生期がdry season だったのか、要因は良くわからない。

タイヌビエは非常に良く目に付く。高所の畑地雑草の種数は少ない。

Kathmandu市内の雑草： 1ハキダメギクは路傍や庭でよく見る。2アゲラタム(白・紫)は庭や路傍。3スベリヒユも同左。

4 *Mazus japonicus* 手入れされた庭。5 *Rorippa dubia* 市内の路傍。6 *Oxalis* sp. (pink fl.)庭。7 *Oxalis* (yellow fl.)路傍。

8センダングサsp. 荒れた庭地。9 スズメノカタビラsp.庭地。10アワゴケsp. hotelの庭。11 *Cardamine flexuosa* hotelの庭。

12オナモミsp. 畑の縁。13アオビユsp. 14タイヌビエ sp. 水田中。15ウリクサsp.庭。16オヒシバ 路傍。17メヒシバ 庭や道。

18マルバツユクサsp. 道。19アゼトウガラシ類 白花、hotel Yak&Yety。20アゼムシロ白花。21ゴマノハグサsp. 黄色花。

22チカラシバsp. 小型。 23チジミザサ sp. 24ゴマノハグサ科sp. 黄色花、路傍。

Imadol地区の雑草: 1ミチバタガラシ。2カヤツリsp. 3種。3ホシクサsp.。4コニシキソウsp. 5マメ科。6ピンクの花

7ウリクサsp. 8アゼトウガラシsp. 9イヌホウズキ。 10ミゾホウズキsp. 11アゼムシロ。 12コナギ。 13アゲラタムが畦や道に多く分布している理由は不明。14ハッカは路傍に多い。精油成分があるが、少しヤギが食べていた。15チョウセンアサガオはトゲと毒がある。16イラクサsp. トゲに毒。17ナス科sp. 実に毒。14-17が多いのはとげと毒がウシやヤギの食害を防ぐからと思われる。

18 *Cardamine* sp. 19 アザミsp. トゲ有り。20不明、白花で百日紅に似る。21不明、白花でクリサンセマムに似る。22スカシタゴボウ。

23 *Veronica* sp. 畦。

83-11-6

税関、医薬品引きわたし

83-11-7

83-11-8

整理

83-11-9

KTM-BKK

83-11-10

BKK

83-11-11

BKK-NRT

ノートの最後の数ページは私信としてcutした。
